

## 会の有志による「鎌倉街道上道を歩く 第6回」

2015 -06 -25 記 佐久間千枝子

### <相鉄線瀬谷～ゆめが丘>

距離約 11km

梅雨本番にもかかわらず、天気恵まれ、「水分補給をまめに」という幹事さんの注意のもと、参加者12名で所沢駅発8時22分の副都心線、中華街行きに乗車、横浜で相鉄線に乗り換え瀬谷へ向かう。ところが、二俣川で乗り換えるべきところ、二駅先まで行ってしまい戻るといふハプニングで予定より40分遅れの出発。いつも下見をし、緻密で完璧な計画をしてくれる幹事さんが、そのあと道を間違えるシーンもあり、「彼も人だったのね、安心したわ」といいながら、いつものように和気あいあい、にぎやかに14カ所の名所を見ながら11kmに挑戦。「さあ、急がねば夕方の納会のビールが遠くなりけり」

#### ①世野の原(せやのはら)の鷹見塚：

相模国4群の鷹狩指揮所の一つとして  
築かれた



#### ②宝蔵寺：平安時代末期治暦2年(1066)に

たてられた不動堂を始まりとするお寺



境内には瀬谷八福神の石造の弁天様のほか、干支のお守りご本尊なども祀られている。

#### ③西福寺：猿応山西福寺は真言宗豊山派の寺で、天文3年(1534年)の創建と伝えられます。瀬谷八福神のうち布袋尊が祀られている。

西福寺の千年椎(横浜市名木・古木)樹齢：600年、幹周り：5.6m  
ここで、重いのにリュックに詰めて持ってきてくれた会員から、冷えて、甘いさくらんぼをたっぷりいただく。暑いなか水分と糖分補給で一息。ごちそう様。



④左馬(さば)社：境川流域には「鯖」「佐馬」「左馬」「左婆」など「さば」と言われる神社が 11 社あり、いずれも左馬頭(さまのかみ)源義朝が祭神として祀られている。(源義朝は頼朝、義経の父で平治の乱で敗走の途中風呂場で討たれた。)



ここは神社なのに梵鐘があり、  
神仏習合の姿を残している。

⑤三叉路に石塔：左馬社の少し先の三叉路の真ん中に  
囲われたエリアがあり、庚申塔、地神塔、道祖神が祀ら  
れている。



⑥宗川寺：寛永 2 年(1625)、日蓮宗の日賢上人が駿河か  
ら江戸に布教の旅の途中に、この地の住人だった石川宗  
川の篤い信仰心に感じ入ったことから開山されたとい  
われるお寺。

山門脇の2本のイチョウは横浜市名木古木の指定  
の夫婦銀杏で古くから縁結び、安産・育児の信仰を  
集めている。

⑦不二家レストラン…名所ではありません

早めの予定が 12:00 ちょうどのランチとなる  
不二家だけあって若いママ友仲間・子連れなど  
満席で大いに華やぐ。



男性会員から「亭主はワンコインランチなのに妻たちは昼間から豪勢なこと……」  
私もビール1杯といきたいところだが、午後からのほうが長く7.5kmも歩くというのであきらめる。

朝の遅れ40分を15分にとりもどして出発。

⑧地神塔：バス停「地神前」の少し先に地神塔がある。僅かに地神塔  
という文字と相州鎌倉郡瀬谷の文字が見える。

相沢川沿いの細い道をえごの木やねむの木を見ながら歩く。この  
あたりは、住宅地の中ではなく街道らしいが、所沢や東京都で見かけ  
た「鎌倉街道」という標識がなく、本当に鎌倉街道？行政の取り組み  
方の違い？などと考えながら、汗をかきかき歩く。





⑨柳明(やなみょう)神社: 柳明神社は、昔、上飯田町の伊勢山と呼ばれていたところにあった「お伊勢宮」で、神明社として地域の信仰を集めていたが、鎌倉郡観音24番札所の大石寺(たいせきじ)が廃寺になった後、その場所に移転し、昭和50年に柳明神社と改められた。



神社裏には、神奈川道の道標を兼ねた**堅牢地神塔**(十二天の一神、地天の別称)が立っている。

⑩本興寺: 日蓮宗の本山で法華山本興寺

山門をくぐり、しばらく行くと、天明5年(1785)に建てられた仁王門と仁王像がある。この赤い門の正面から臨む景色は赤の額縁に緑の日本庭園を描いた日本画のようで感動した。また、庭の砂じやりに、ほうきのあとを残し、美しい。名木古木に指定されている**イトヒバ**は樹齢500年で手入れが大変だとお寺の住職が教えてくれた



本堂の唐破風の下には**見事な彫刻**がある。

また、本堂の欄間には**釈迦、日蓮、日什の一代記の彫刻**がある。

⑪甲子塔 甲子塔は、甲子講の人々が建てた供養塔である。

近くの上飯田西公園で3時のおやつ、甘いお菓子と水分補給

⑫飯田神社: 飯田神社は、相模川沿いに祀られているサバ神社の1社で、明治6年(1873)に上飯田村の村社に指定。

ここも神仏習合で梵鐘があり、お賽銭をいれて鳴らしてみる、  
響きが心地よい



饅頭くへば 鐘が鳴る鳴る 飯田神社  
(字余りでおそまつ...)

⑬無量寺:名木古木に指定されているイチヨウの古木や、寛政六年(1794)造立の「出羽三山・西国・板東・秩父百番札所」供養塔、元徳年間(1329~32)に造立された板碑などがある。



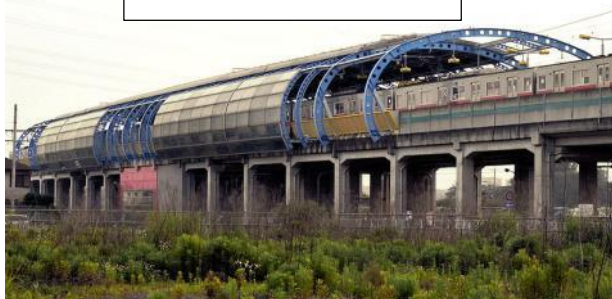
⑭「美濃口家長屋門」下飯田に入ると右側の古い道に、昔ながらの風景が広がる。



ここに立派な「美濃口家長屋門」があります。美濃口家は代々名主を勤め、村制をしかれてからは村長も勤めた家柄です。ここに、江戸時代の俳人「美濃口春鴻」関係の資料(横浜市の文化財)が納められている。

本日の街道歩きはこれにて終了。

相鉄線 ゆめが丘駅



畑の間をぬけると、忽然とドーム式の駅舎が見えた、まるでモノレールの駅のように、周りの景色とふつりあいな感じ。

駅構内は広々している。あとで調べたら関東の駅百選のひとつだが、乗降者数は相鉄線で最下位だとか。

次回はこの駅がスタートJR藤沢駅まで。少し乗降者数アップに貢献？

約20,000歩、11Kmを全員完歩。お疲れ様でした。

次回は夏休みをはさみ、9月になるので、ひと区切りということで納会をやることになり、いざ所沢へ。

汗をかいた分、美味しくビールをいただき歩いてせっかく消費したカロリーが、まさしく「水の泡」と消えた

駅校内

